

■視点1-②

《中期目標》思考力・判断力・表現力を身につけた子どもの育成
〈成果指標〉令和4年度の全国調査:国語+1.0、数学+1.0

■視点5

【家庭・関係機関との連携】
〈取組（指標）〉
③福間中ブロック家庭学習の手引きを活用し、家庭学習を毎月30日提出。
①タブレットで課題提出。
〈成果（指標）〉
○全学質問紙調査「家庭での学習の定着」の結果（全国比+1.0）
○全学質問紙調査「学習の中でICTは役に立つか。」（全国比+1.0以上）

■視点2

【授業づくり】

【基礎・基本の確実な習得】
〈取組（指標）〉
①毎時間のまとめ（振り返り）または、単元ごとの振り返りを行い、1時間の授業の流れや学びのつながりを確認し、身に着ける知識・技能等の定着・向上を図る活動の設定。
〈成果（指標）〉
◆授業アンケート「まとめ・振り返りを行っている。」（3.5以上）
【自分の考えを根拠をもって表現する力の育成】
〈取組（指標）〉
②学習過程の各段階において考えを整理し学習をまとめ、より考えを深める交流の場を設定する。
〈成果（指標）〉◆授業アンケート「交流活動を意欲的に取り組めた」（3.5以上）
◆授業チェックシート「自分の考えを説明したり、話し合いにより自分の考えを修正したりするなどの対話活動の設定」（3.3以上）

■視点4

【教員の意識・指導力の向上】
〈取組（指標）〉
④学力向上「福津市スタンダード」の共通理解（校内研修実施）
⑤タブレットを活用した課題や授業、分析等を行う。
②OJT授業研究会の実施（年2回）
○全国学力調査や授業結果アンケート分析を踏まえ、授業改善の視点を明らかにしていく。
〈成果（指標）〉
◆生徒による授業アンケート評価3.5以上（年2回実施）
◆教員相互の授業参観を年2回実施。

■視点3

【学力基盤づくり】

〈取組（指標）〉
①定期テスト前に放課後補充授業を行う。（5教科で実施し、支援を要する生徒を中心に行う。）
〈成果（指標）〉
○授業アンケート「授業がわかる」（3.5以上）

■視点1-①

全国学力・学習状況調査、県学力調査及び児童生徒による授業評価等から見た「課題」												授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」		
教科	国語		数学		四分位層 の県との 差	国語				数学				
全国（県） 調査 標準化得点	R3	R4	R3	R4			A層	B層	C層	D層	A層	B層	C層	D層
	112		116			R3	+10.7	+2.2	-4.5	-8.4	+14.8	-2.8	-2.9	-9.1
						R4								
課題	・ R3全国学力調査事項採点より 国語：伝えたい事柄について根拠を明確にして書く力に課題。 数学：事象を数学的に解決し、解決の方法を説明する力に課題。 ・ 学力中低位層の割合についてD層の割合が数学で減少していた（-9.5→-9.1）													①基礎・基本が定着していない生徒に対する補 充的な指導が十分ではない。 ②問題解決的な学習、互いの考えを出し合う活 動が十分ではない。 ③家庭学習の内容に関する指導が不十分。 ④規範意識を育成する取組が不十分。 ⑤自尊感情が高まるような互いに認め合う場面 の工夫が必要。
質問紙 調査等	・ 家庭での学習習慣の定着 R3（全国比+2.7）・将来の夢や目標を持っているR3（全国比+2.4） ・ 自分に良いところがあるR3（全国比+0.7）・授業チェックリスト「児童生徒同士が相互に関わ り合い、考えを広げ深めるための工夫がなされている」（4段階評価2.8）													

①基礎・基本が定着していない生徒に対する補充的な指導が十分ではない。
②問題解決的な学習、互いの考えを出し合う活動が十分ではない。
③家庭学習の内容に関する指導が不十分。
④規範意識を育成する取組が不十分。
⑤自尊感情が高まるような互いに認め合う場面の工夫が必要。